

千葉市発達障害者支援センターの地域支援機能のあり方について

1 趣旨

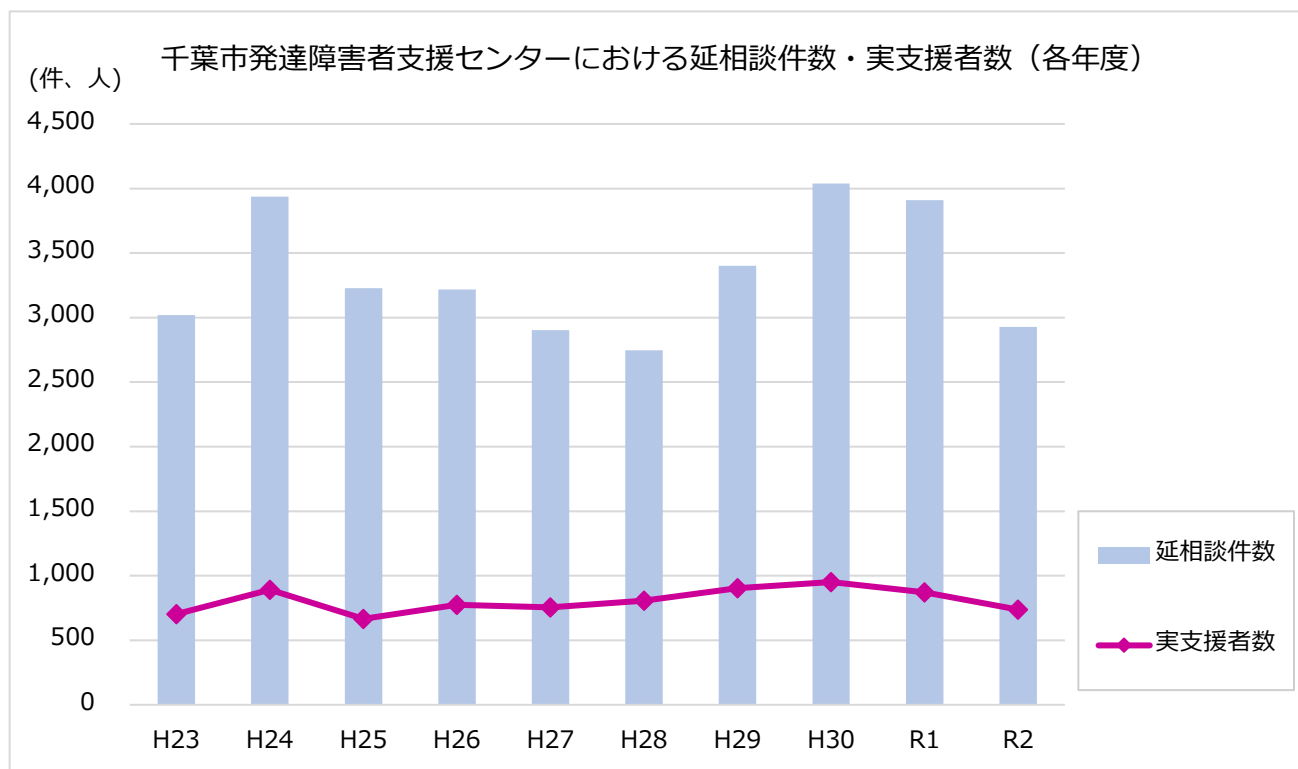
発達障害者（児）については、支援のためのノウハウが十分に普及されていないため、地域における支援体制の確立が課題とされているところである。

一方、発達障害者（児）に対する支援を総合的に行う地域の拠点である千葉市発達障害者支援センターには、障害福祉サービス事業所等に対するバックアップや困難事例への対応など、中核機関としての「地域支援機能」が求められている。

本市における発達障害者（児）に係る地域支援の体制を整備するため、まずはその第一歩として、千葉市発達障害者支援センターの地域支援機能のあり方について検討する。

2 現状

千葉市発達障害者支援センターが直接受ける相談（来所・電話・訪問）、実支援者数はいずれも概ね増加傾向※にある中、平成 30 年度、令和 3 年度（予定）にそれぞれ常勤の支援員を 1 名増とするなど、人員体制の累次の補強策を図っているところであるが、今後も延相談件数、実支援者数いずれも増加することが想定される。



※ 令和 2 年度は R2. 12. 31 時点

3 検討の方向性

(1) 論点 1

千葉市発達障害者支援センターが中核機関として担うべき役割について方向を定める。

(2) 論点2

発達障害者（児）が利用する、身近な地域における障害福祉サービス事業所、障害児通所支援事業所、相談支援事業所等の役割について明確にする。

(3) 論点3

論点1・2を踏まえ、千葉市発達障害者支援センターと身近な地域の障害福祉サービス事業所等との棲み分けについてどのようにするか。

(4) 論点4

国が活用を推進している「発達障害者地域支援マネージャー」について、同じ指定都市である横浜市の実践を参考としつつ、本市の状況を踏まえ、どのように企画するか。

○ 発達障害児・発達障害者に対する地域支援機能の強化（厚生労働省）

発達障害児者の各ライフステージに対応する一貫した支援を行うため、地域の中核である発達障害者支援センター等に配置する発達障害者地域支援マネージャーの体制を強化することで、市町村や事業所等が抱える困難事例への対応促進等を図り、発達障害児者に対する地域支援機能を強化する。